



令和7年度(第4期) ふくおか元気向上チャレンジ

(在宅高齢者の要介護状態改善事業)

福岡市福祉局 高齢社会部 介護保険課

1 ふくおか元気向上チャレンジのご案内



ふくおか元気向上チャレンジについて

- 福岡市では、高齢者が住み慣れた地域で、できる限り自立した日常生活を送り、自分らしく生きていけるよう「ふくおか元気向上チャレンジ」を実施しています。
- この事業では、利用者の「**したい・やりたい(目標)**」を実現するために、**チーム(利用者、介護事業所)**で要介護度やADL等の改善・維持に向けた取り組みを行っていただきます。その結果に応じて**認証や表彰などのインセンティブ**をお渡しし、更なる重度化防止に対する意識・意欲の向上や、介護サービスの質の向上に繋げていくものです。
- 要介護度等が改善することはとても素晴らしいことですが、**目標に向けて、チーム一丸でチャレンジすることが何よりの事業成果**と考えております。利用者の望む暮らしを叶えるための1つのきっかけ作りや、改めてチームケアについて考える機会として、ぜひご活用ください。



令和7年度(第4期)から以下のとおり見直して実施します！

①チーム構成を「居宅介護支援事業所を含む2つ以上の事業所」に緩和

従来は、利用者に介護サービスを提供している全ての事業所でチームを結成することを原則としていましたが、要件を緩和しました。

②オンラインでの申込みも可能(郵送・持参も可)

従来は、事業への参加及び個人情報利用に関する同意書の原本をご提出いただいていたため、郵送または持参による申請としておりましたが、今回から、同意書の原本は代表事業所で保管していただき、申請時にその旨を記載していただく方法に変更したため、オンラインでの申請も可能となりました。

③2次評価を廃止→2次評価のための報告書提出が不要

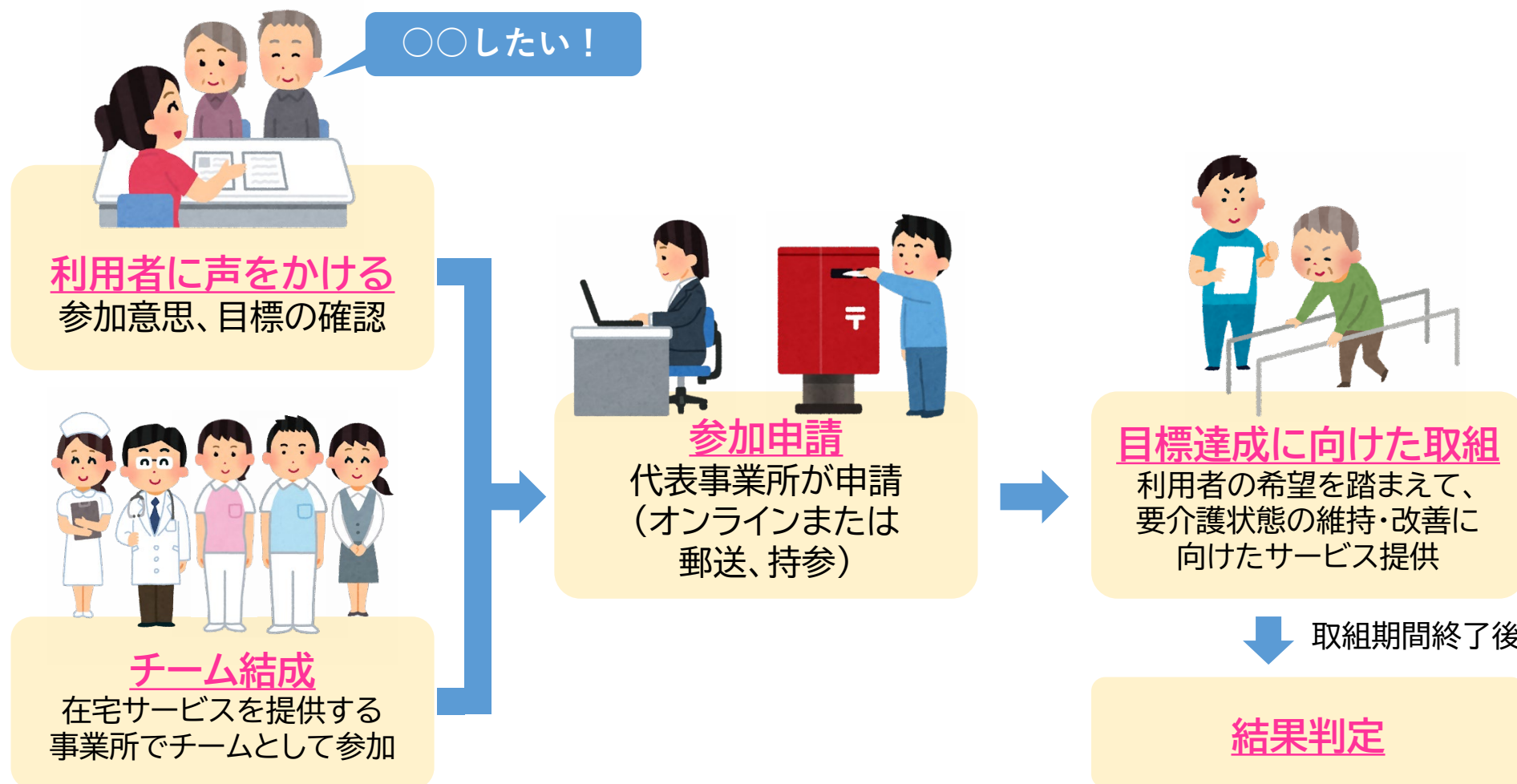
2次評価のための報告書の提出が負担というご意見をいただいたこともあり、今回から2次評価を廃止しました。従来行っていた1次評価の結果をもとに判定することとなります。
(詳細は5Pをご参照ください。)

④報奨金を拡充

従来は、金賞受賞チームに10万円の報奨金をお渡ししていましたが、以下の通り拡充しました。

金	賞	：	12万円	／	1チーム	→	拡充！
銀	賞	：	5万円	／	1チーム	→	新設！
銅	賞	：	3万円	／	1チーム	→	新設！

- 利用者に声をかけて、参加意思を確認のうえ、取組目標(したい、やりたい)を設定
- ケアに関わる在宅サービスの提供事業所でチームを結成
- 代表事業所が参加申請
- 目標達成に向けた取組(サービス提供)の実施



- チームを構成する利用者及び介護事業所の参加要件は、以下のとおりです。

利用者

- ✓ 在宅系サービスを利用している福岡市の介護保険被保険者（在宅系サービスの詳細は、下表をご確認ください。）
- ✓ 参加申請時点において要介護1から要介護5までの認定を受けている方
- ✓ 個人情報の取扱いに同意いただける方
- ✓ その他、次のいずれにも該当しない方

※ 直近の要介護認定結果と比較して、すでに参加申請時点において心身の状態に著しく改善がある方

※ 給付制限等の対象になっている方

介護事業所

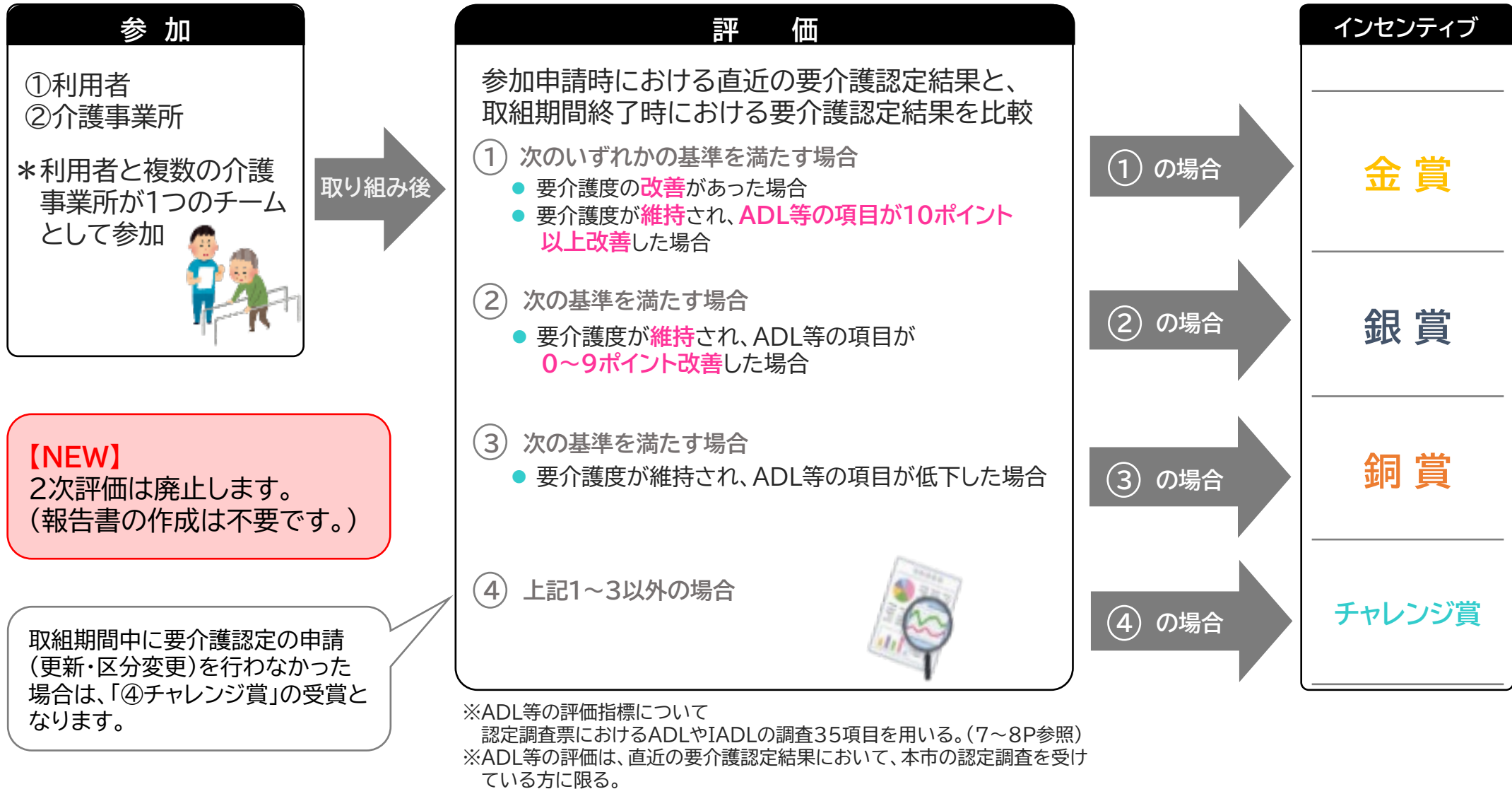
- ✓ 在宅系サービスを提供する福岡市内に所在する介護保険指定事業所（在宅系サービスの詳細は、下表をご確認ください。）

※ 令和6年4月1日以降に、介護保険法に基づく勧告以上の行政指導または行政処分を受けている介護事業所は、参加できません。

種 類		サービス種別
在宅系サービス	自宅で受けるサービス	訪問介護、訪問看護、訪問リハビリ、訪問入浴介護、夜間対応型訪問介護、居宅療養管理指導、福祉用具貸与、定期巡回・随時対応型訪問介護看護
	施設に通って受けるサービス	通所介護、通所リハビリ、地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護
	通い、訪問、泊りの組み合わせ	小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護
	短期宿泊	短期入所生活介護、短期入所療養介護
	その他	居宅介護支援

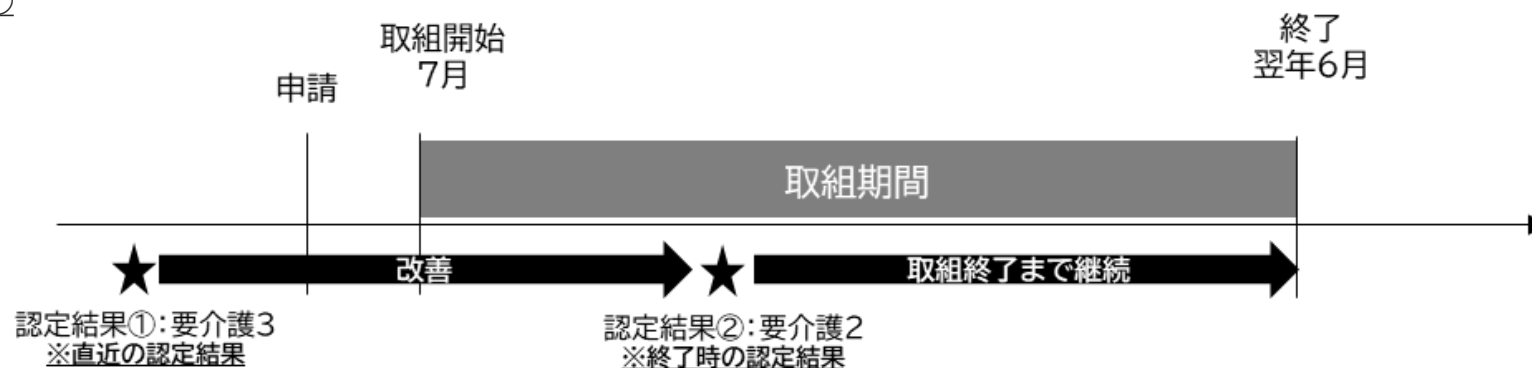
評価方法

- 以下の手順で評価を行います。インセンティブの詳細は、9Pをご参照ください。



- 申請日以前と取組期間終了時の要介護認定結果を比較し、評価を行います。
以下の例を参考にしてください。

例①



例②



※ 取組期間中において更新申請の対象ではない方であっても参加できます。

その場合、必ずしも区分変更申請を行う必要はありません。

※ ただし、認定申請を行わなかった場合は、「チャレンジ賞」の受賞となります。

●「能力」に関する調査項目

	調査項目	選択肢
1	寝返り	1. つかまらないでできる 2. 何かにつかまればできる 3. できない
2	起き上がり	1. つかまらないでできる 2. 何かにつかまればできる 3. できない
3	座位保持	1. できる 2. 自分の手で支えればできる 3. 支えてもらえればできる 4. できない
4	両足での立位保持	1. 支えなしでできる 2. 何か支えがあればできる 3. できない
5	歩行	1. つかまらないでできる 2. 何かにつかまればできる 3. できない
6	立ち上がり	1. つかまらないでできる 2. 何かにつかまればできる 3. できない
7	片足での立位	1. 支えなしでできる 2. 何か支えがあればできる 3. できない
8	視力	1. 普通(日常生活に支障がない) 2. 約1m離れた視力確認表の図が見える 3. 目の前に置いた視力確認表の図が見える 4. ほとんど見えない 5. 見えているのか判断不能
9	聴力	1. 普通 2. 普通の声がやっと聞き取れる 3. かなり大きな声なら何とか聞き取れる 4. ほとんど聞こえない 5. 聞こえているのか判断不能
10	えん下	1. できる 2. 見守り等 3. できない
11	意思の伝達	1. 調査対象者が意思を他者に伝達できる 2. ときどき伝達できる 3. ほとんど伝達できない 4. できない
12	毎日の日課を理解	1. できる 2. できない
13	生年月日や年齢を言う	1. できる 2. できない
14	短期記憶	1. できる 2. できない
15	自分の名前を言う	1. できる 2. できない
16	今の季節を理解する	1. できる 2. できない
17	場所の理解	1. できる 2. できない
18	日常の意思決定	1. できる(特別な場合でもできる) 2. 特別な場合を除いてできる 3. 日常的に困難 4. できない

評価(ADL等の評価指標②)

●「介助」に関する調査項目

	調査項目	選択肢
19	洗身	1.介助されていない 2.一部介助 3.全介助 (※4.行っていない)
20	つめ切り	1.介助されていない 2.一部介助 3.全介助
21	移乗	1.介助されていない 2.見守り等 3.一部介助 4.全介助
22	移動	1.介助されていない 2.見守り等 3.一部介助 4.全介助
23	食事摂取	1.介助されていない 2.見守り等 3.一部介助 4.全介助
24	排尿	1.介助されていない 2.見守り等 3.一部介助 4.全介助
25	排便	1.介助されていない 2.見守り等 3.一部介助 4.全介助
26	口腔清潔	1.介助されていない 2.一部介助 3.全介助
27	洗顔	1.介助されていない 2.一部介助 3.全介助
28	整髪	1.介助されていない 2.一部介助 3.全介助
29	上衣の着脱	1.介助されていない 2.見守り等 3.一部介助 4.全介助
30	ズボン等の着脱	1.介助されていない 2.見守り等 3.一部介助 4.全介助
31	薬の内服	1.介助されていない 2.一部介助 3.全介助
32	金銭の管理	1.介助されていない 2.一部介助 3.全介助
33	買い物	1.介助されていない 2.見守り等 3.一部介助 4.全介助
34	簡単な調理	1.介助されていない 2.見守り等 3.一部介助 4.全介助

● 上記以外の変化を測る項目

	調査項目	選択肢
35	外出頻度	1.週1回以上 2.月1回以上 3.月1回未満

※ 調査項目の選択肢の番号について、直近の要介護認定結果の合計から取組終了時の合計を差し引き、差がプラスであれば改善、ゼロであれば維持、マイナスであれば悪化とする。ただし、「19:洗身」の「行っていない」に該当する者は、「19:洗身」を評価指標から除外する。(その他の34項目の選択肢番号を合計し、評価。)

インセンティブの内容

- 参加した利用者には**記念品**を、一定の基準を満たしたチームには**認証**及び**報奨金**をお渡しします。※1
- 金賞チームについては、式典での表彰を行います。※2
- また、取組み内容を**事例集**としてまとめ、広く介護事業所等へ広報します。※2、3

	介護事業所	利用者
金 賞	式典における表彰(表彰状)※2 認証(金)※1 事例集への掲載※2、3 市ホームページ掲載※4 報奨金(12万円／チーム) 【拡充】	式典における表彰(表彰状)※2 記念品
銀 賞	表彰状 認証(銀)※1 市ホームページ掲載※4 報奨金(5万円／チーム) 【NEW】	表彰状 記念品
銅 賞	表彰状 【NEW】 認証(銅)※1 市ホームページ掲載※4 報奨金(3万円／チーム) 【NEW】	表彰状 記念品
チャレンジ賞	参加の証 【NEW】 認証(チャレンジ)※1 【NEW】 市ホームページ掲載※4	参加の証 記念品

※1「認証」は、ステッカーを製作し、お渡しします。また、名刺に印刷するなど幅広く活用いただくため、データでの提供も可能です。

※2「式典における表彰」、「事例集への掲載」について、金賞受賞チームが多数となった場合は、市で選定するものとします。

※3「事例集」は、参加チームの皆様へ取材を行い、記事にいたします。記事内容は、チームの取組みや事業所情報などを掲載予定です。

※4「市ホームページ掲載」について、希望により非掲載とすることも可能です。(掲載の可否は、結果を通知する際に確認いたします。)



キーホルダー



取組中ステッカー



【NEW】取組中ポスター

参加申込時に利用者へキーホルダー、事業所へ取組中ステッカー および取組中ポスター(A3サイズ)をお渡しします。

①郵送または持参(提出書類は1点)

- ・「ふくおか元気向上チャレンジ」参加申請書(様式第1号)を提出してください。
- ・「ふくおか元気向上チャレンジ」への参加及び個人情報の利用に関する同意書(様式第2号)は、利用者による署名のうえ、代表事業所で適切に保管してください。(市への提出は不要です。)

②オンライン

- ・福岡市ホームページの申請フォームに入力してください。(「ふくおか元気向上チャレンジ」で検索)
- ・「ふくおか元気向上チャレンジ」への参加及び個人情報の利用に関する同意書(様式第2号)は、利用者による署名のうえ、代表事業所で適切に保管してください。(市への提出は不要です。)

●申込受付期間

令和7年12月末日まで

郵送または持参の際の提出先は以下のとおりです。

〒810-8620 福岡市中央区天神1-8-1

福岡市福祉局高齢社会部介護保険課 重度化防止推進担当

- ✓ 代表となる介護事業所には、インセンティブの受領や手続きなど、市とチームとの窓口的な役割を担っていただきます。
- ✓ 代表となる介護事業所は、その他の介護事業所や利用者を含めチーム単位で、申請をお願いします。
 - 原則、**居宅介護支援事業所を含む2つ以上の介護事業所の参加が必要です。**
 - 他制度(医療保険等)を併用している場合、介護保険のサービスを提供している介護事業所のみ事業の対象となりますので、ご注意ください。
- ✓ 「小規模多機能型居宅介護事業所」及び「看護型小規模多機能型居宅介護事業所」については、単独で申請可能です。(他のサービスの給付管理を行っている場合はチームでの参加も可能です。)

参加申請からインセンティブ受領まで

1 オンラインまたは郵送、持参により申込み

2 「参加決定通知書」を受領

申込後に、市担当者が取組みの様子などを電話や訪問でお尋ねする場合がありますので、その際はご協力をお願いします。

3 取組期間(～R8.6)終了後、市で結果判定

結果は要介護認定調査の情報をもとに市が判定します。報告書の提出等は不要です。

4 インセンティブを受領

✓ 取組中において、申請内容に変更等があった場合は、「参加内容変更等申請書」の提出が必要です。

《変更等の事由について》

①介護事業所の変更・追加

②参加辞退

→参加辞退とは、利用者自ら参加の辞退を希望するほか、参加要件を満たさなくなった場合(利用者の死亡・転出、事業所の廃止等)をいいます。参加要件については、4Pをご参照ください。

	令和7年度								令和8年度											
	4月～6月			7月～9月			10月～12月		1月～3月			4月～6月			7月～9月			10月～12月		
募集期間																				
取組期間																				
評価期間																				
その他				○事業説明会(7/29開催予定)																◎ 表彰式 講演会
				○研修会(9/10開催予定)																

- ✓ 募集受付期間は、6月から12月までです。
- ✓ 7月から翌年6月までを参加チームによる「したい・やりたい」の実現に向けた取組期間としています。
- ✓ 9月10日(水)に自立支援・重度化防止に関する研修会を開催予定です。
- ✓ 金賞チームは、式典での表彰を予定しています。(ただし、受賞チームが多数の場合には市で選定します。) また、式典にあわせて、重度化防止に関する講演会を開催予定です。

2 これまでの実施内容

参加状況・結果

第2期表彰式・講演会、令和6年度研修会

第2期インセンティブ内容



- これまでの参加状況や結果は下記のとおりです。

	取組期間	参加 チーム数	参加 事業所数	金賞	銀賞	銅賞	その他・ チャレンジ賞
第1期	R4.7～4.12	37	125	3	2	4	28
第2期	R5.7～R6.6	27	103	4	3	2	17
第3期	R6.7～R7.6	19	72	R7年度に決定			

参加いただいた皆様の声を一部ご紹介します！！

＜利用者様＞

- ・ 今回、事業所の勧めで参加しましたが、自身が目標にする姿へ色々な事業所の支えを受け前向きな気持ちで取り組めて良かったです。
- ・ 記念品と賞状をもらって嬉しかったです。デイサービスで他の利用者の皆さんにも見てもらいました。

＜事業所様＞

- ・ このような取り組みがあることで改めて利用者様のモチベーションの向上に向けた意識作りを構築することができました。
- ・ サービス事業所が主体となって参加しております。対象者および家族を中心とし、リハビリについて、身体機能維持について考える機会となりました。
- ・ 利用者だけでなく、スタッフのやりがいにも繋がったので、今後もぜひ参加したいです。

これまでの実施内容(第2期表彰式・講演会、令和6年度研修会)

- JR九州ホールにて、第2期の**金賞チームの皆様**の表彰式と漫才コンビレギュラーによる講演会を開催！



<来場者の声(抜粋)>

ー 表彰式 ー

- 本人やその家族に寄り添った質の良いケア、活動に感銘を受けました。
- どのチームも一体感が改善に向かう原動力となっていることがよく表れていた。

ー 講演会 ー

- 利用者を楽しく元気にできるサポートもとても大事だと思いました。

ー その他 ー

- 元気になることに向けて頑張るには目標(生きがい)がとても大切なんだと感じた。
- このような取り組みがあることを初めて知った。もっと広めてほしい。

- 令和6年度「ふくおか元気向上チャレンジ**研修会**」を開催！

第1部:「地域で暮らし続ける支援のためにチーム連携で取り組む際のポイントと留意点」講師:白木裕子氏

第2部:第1期ふくおか元気向上チャレンジ金賞受賞チームの事例報告 第3部:グループディスカッション



<参加した事業所様の声(抜粋)>

ー 第1部 ー

- ケアマネジメントの視点で必要な支援が理解できた。
- 視点を改めて、「したいこと」からアプローチしてみようと思います。

ー 第2部 ー

- 多職種と連携することで本人が望む生活に繋げることができたという素晴らしい事例。
- 具体的な事例で、第1部とつながっていてわかりやすかったです。

ー 第3部 ー

- いろんな職種の方の考え方を知り大変勉強になった。

これまでの実施内容(第2期インセンティブ内容)

- 参加頂いた皆様に、引き続き重度化防止に取り組んでいただけるよう、以下のインセンティブ(記念品等)をお渡ししました。

<利用者インセンティブのご紹介>



箸、スプーンセット
(金賞記念品)



マグカップ(参加者全員への記念品)

保温機能のあるマグカップ。
側面には、事業マークを入れました。

お好きな色(5色から)
を選んで頂きました。



表彰状

金賞の方には、表彰式
のステージ上で表彰状
をお渡ししました。

- 箸、スプーンセットは、金賞の利用者様に、マグカップと表彰状(参加の証)は、参加した皆様にお渡ししました。

<事業所インセンティブのご紹介>

事業所様の窓口等に貼って頂くためのステッカーを作成しました。また、希望する事業所様には認証マークをデータでお渡しし、名刺や自事業所のHP等に掲載するなど、活用頂いています。



認証

- 認証ステッカーは、金賞・銀賞・銅賞の介護事業所様に、表彰状は、金賞・銀賞の介護事業所様にお渡ししました。
- 参加事業所の情報(電話番号や住所等)を、福岡市のホームページに掲載しました。
- その他、金賞の介護事業所様に報奨金(10万円)を交付しております。
- 第3期の金賞チームの取組みを紹介する事例集については、令和8年12月頃までに冊子にまとめ、市内の介護事業所様等へ配布する予定としております。